

4年 道徳科学習指導案

令和4年1月15日(土)

4年1組 29名 授業者 板澤 絢子

4年2組 30名 授業者 横田 夢

4年3組 28名 授業者 松本 将吾

- 1 主題名 きまりを守るのは
- 2 教材名 「雨のバスでいりゅう所で」 東京書籍
- 3 ねらい 約束やきまりの意義を理解し、これらを守ろうとする態度を育てる。
- 4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)	※指導上の留意点
導入	<p>1 自分の身の回りにおけるきまりや、約束事を思い起こす。</p> <p>①自分の普段の生活で、どんなきまりや約束がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廊下を走ってはいけない。 ○図書館では、大きな声を出してはいけない。 ○ボールを使ったら、元の場所に戻す。 	<p>※法律ではなく、児童に身近な事柄を挙げさせることで、日常生活を思い起こせるようにする。</p>
展開	<p>2 「雨のバスでいりゅう所で」を読んで、話し合う。</p> <p>①バスが見えたとき、よし子が駆け出してバス停の先頭に並んだのは、どんな思いからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○席に座るために、早く乗らなくては。 ○雨風が強くて服やお土産が濡れるから、すぐに乗りたい。 <p>②知らぬふりをして、窓の外をじっと見ているお母さんの横顔を見て、よし子はどんなことを思っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私は良くないことをしてしまったんだ。 ○自分のことしか考えていなかったな。 ○お母さんは、他の人に嫌な思いをさせた自分を怒っているんだな。 ○並んでいた他の人たちも、早く乗りたいだろうな。怒っているかな。 ○ルールを守れば、誰も嫌な気持ちがしなかったかもしれない。 <p>3 みんなが気持ちよく生活するために大切なことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○きまりや約束、順番を守る。 ○周りの人が、嫌な気持ちがしないか考えて行動する。 	<p>※よし子の置かれた状況や行動を、児童に確認した上で、よし子の思いを捉えられるようにする。</p> <p>※バスの乗車順を破ってしまったことに気付き始めた、多様な気持ちを捉えさせるようにする。</p> <p>※「良くないことをしてしまった。」等、児童が反省の意識だけでなくとどまらないように、なぜ良くないのか問い返し、深く考えられるようにする。</p> <p>※悪気がなかったり、無意識であったりしたとしても、順番を守らないこと自体が良くないことであることを捉えられるようにする。</p> <p>※コラボノートに、自分の考えを記述させてから、グループで話し合い、全体共有で交流させることで、多様な意見に触れ、自分の考えを深められるようにする。</p>
終末	<p>4 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これからは、ただきまりを守るのではなく、一緒に生活する人の気持ちを考えて行動するようにする。 <p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>※児童一人一人が自分の生活を振り返り、道徳的価値について考えられるように声掛けを行う。</p> <p>※過ちを許したり、許されたりした経験について話す。</p>

5 評価

- ・みんなが気持ちよく生活するために、大切なことについて考え、これからの生活に生かそうとしていたか。